



メジロ

見沼自然散策

2019.2.9



ホオジロ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



オオカマキリ卵のう



ハラビロカマキリ卵のう

カマキリの卵のうを探そう
カマキリは卵を泡状のものに包んで産む。産卵直後はかなり白いが、一晚経つと茶色くなって周囲に溶け込む。

それでも鳥たちは見つけて食べにくる↓



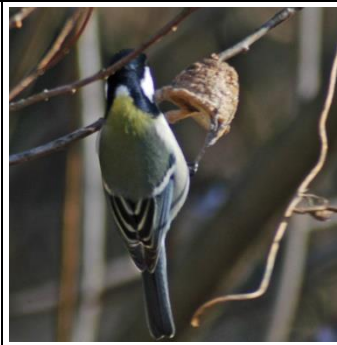
チョウセンカマキリ卵のう



エナガ



アオジ



シジュウカラ



コゲラ



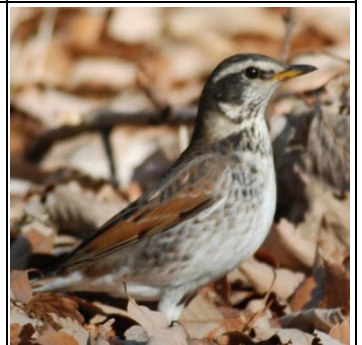
アカハラ



シロハラ

ツグミは秋に日本にやってくる。木の上で実などを食べているが、なくなると地面へ降り、葉をひっくり返して食べ物を探す。

シロハラも**アカハラ**も**ツグミ**の仲間で、大きさも同じくらい。暗いところを好む



ツグミ



クイナ



ヒヨドリ

←寒い日、鳥たちは羽毛を立てて体を膨らませている。空気の層を作って外気温との差を埋める

くちばしの形は食べるもので違う。**シメ**は堅い木の実などを割って食べるからくちばしは短く太い→



シメ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ

←寒さの中、陽だまりでひっそりと花を咲かせている

春に「まず咲く」から**マンサク**。えんじ色のものはガク片で、花卉は黄色→



マンサク